

新技術の地域実装に向けた研究活動

土木学会「新技術の地域実装に向けた研究活動助成」に採択されました。

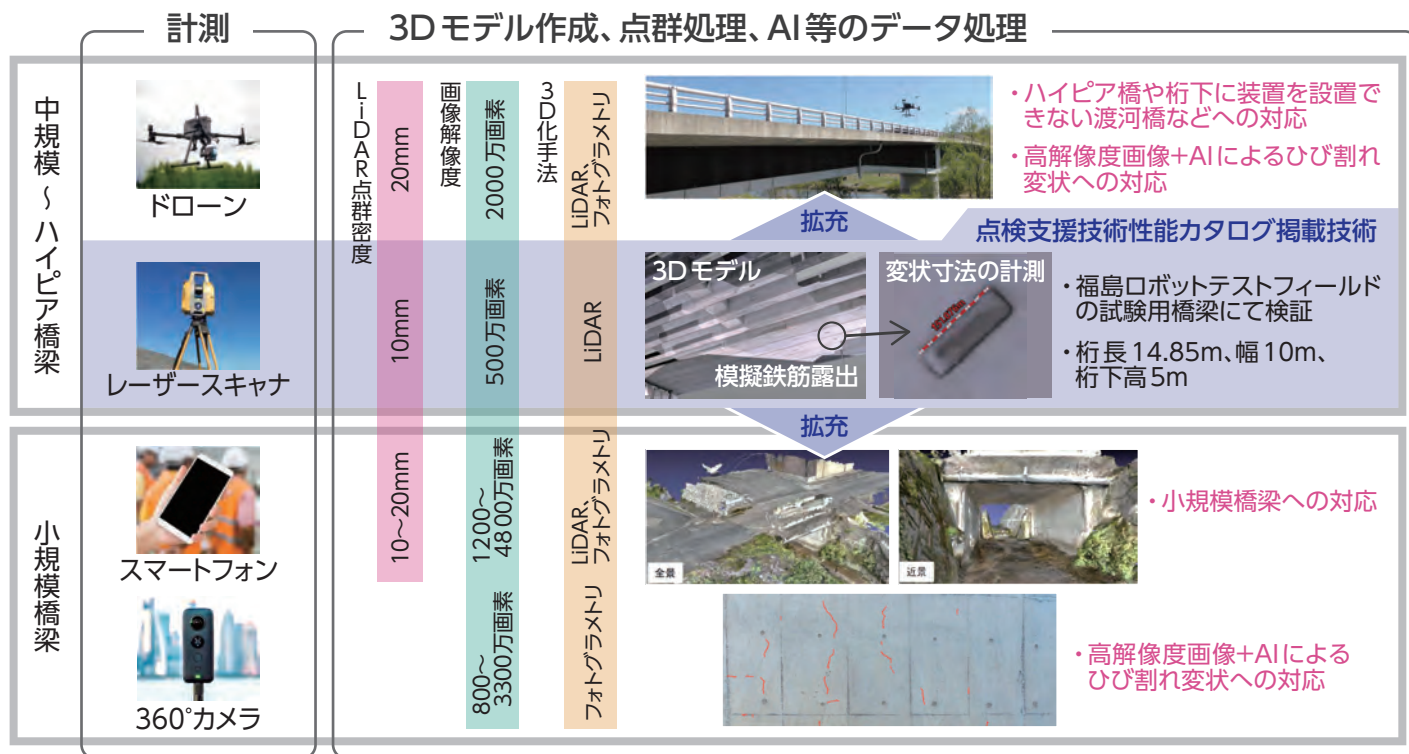
研究開発課題名

3Dモデルを用いた橋梁点検の効率化技術の地域実装

対象地方自治体：山形県南陽市 / 対象構造物：橋梁

概要

・国土交通省「点検支援技術性能カタログ」に掲載された技術（技術番号：BR020031-V0023）をベースとして、小規模からハイピアまで多様な橋梁に対応させるため、対象橋梁の特性に応じた計測機器を単体及び複数用いて、橋梁の3Dモデルを構築する。



定期点検

小規模～ハイピアまで、多様な橋梁に対応

点検調書に活用

点検の効率化

状態把握、点検記録の効率化

補修用の数量算出の効率化

効率化効果の確認

3Dモデル

- ・状態把握：対象橋梁の全体状況を把握
表示機能（移動、回転、拡大／縮小）により変状の場所や種類を把握
- ・点検作業：対象橋梁を再現して変状の状態を確認
→ チョーキングやスケッチ（外業作業）や損傷図の作成（内業作業）時間を低減
- ・補修設計：変状寸法を算出し、変状画像に付記して出力
→ 補修設計に要する数量算出を容易化

地方自治体の直営点検で実証し、点検効率化の効果を確認するとともに、技術改良による現場適用性の向上に取り組み、地域への普及を推進します！

研究代表者：東北大学IMC

共同研究者：(有)吉川土木コンサルタント、福井コンピュータ(株)、(株)IML、山形県南陽市

お問合せ先

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

TEL：022-721-5503 E-mail：inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp HP：http://imc-tohoku.org/